

|  |                 |     |                    |       |            |                    |
|--|-----------------|-----|--------------------|-------|------------|--------------------|
| 5 月度 <sup>例会</sup> <sub>個人</sub> 山行報告書 |                 |     | 報告者                | 津田廣一  | 参加<br>メンバー | CL: 竹内 幹雄<br>津田 廣一 |
|  |                 |     | 報告日                | 6月15日 |            |                    |
| 山城                                     | 奥秩父             | 山行日 | 13年 5月2日 (木)       |       |            |                    |
| 山名                                     | 両神山・雲取山 (甲武信ヶ岳) |     | ~5月4日 (土)          |       |            |                    |
| 山行目的                                   | 日本百名山の山を登り楽しむ   |     | コースタイム (天候: 天気図記号) |       |            |                    |

配布先  
総会参加数  
山行: 1  
リーダー  
原紙:  
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)



←両神山



←雲取山

1/2.5 万地形図: 丹波・雲取山・居倉・金峰山・長又・両神山

|   |   |
|---|---|
| 5/2 晴れ (両神山)<br>5:30 起床<br>5:45 道の駅上野発<br>6:45 日向大谷口 P 着<br>7:00 日向大谷口 P 発<br>7:40 会所 (七滝沢コース分岐)<br>8:10 たちや堀一本 (5分)<br>8:30 八海山<br>8:50 弘法乃井戸<br>9:05 清滝小屋一本 (10分)<br>9:55 両神神社一本 (5分)<br>10:20 両神山山頂 (20分)<br>11:05 両神神社一本 (5分)<br>11:40 清滝小屋一本 (5分)<br>12:50 たちや堀一本 (5分)<br>13:30 P 下山<br>~道の駅 両神温泉<br>薬師の湯<br>→三峰 P 付近 (5:30 着)<br>(雲取山登山口付近) | 5/3 晴れ (雲取山; )<br>3:30 起床<br>4:30 三峰登山口 P 発<br>5:30 1400m付近一本 (5分)<br>6:00 霧藻ヶ峰<br>6:30 前白岩肩一本 (5分)<br>7:30 白岩小屋一本 (10分)<br>8:00 白岩山<br>8:30 大ダワ手前一本 (10分)<br>9:30 雲取山山頂 (30分)<br>10:25 雲取山荘一本 (5分)<br>11:30 芋ノ木ドック一本 (5分)<br>12:30 前白岩肩手前一本 (10分)<br>13:50 P 下山<br>~道の駅 大滝温泉<br>→毛木平 P (19:30 着)<br>(甲武信登山口)<br>*林道走らず甲府へ出て<br>高速利用、長坂 IC より |
|---|---|

〈山行報告〉1日目; 昨夜19時、知立駅で竹内さんと合流。天気は良さそうでハイ気分。諏訪ICで降り、交代運転で武州街道を走る。深夜1時、道の駅上野で後ろシートを倒し車中泊。目覚めと共に、登山口へ出発。お握りを頬張り、急ぎ準備して出発。樹林の中を歩くが、風もなく暑い。一汗かいて、たちや堀で1本。八海山を過ぎると急坂に、弘法乃井戸を過ぎて暑さ我慢の登りを続け清滝小屋の木陰で1本。汗がス〜と引いて気持ちいい。気を取り直して急登を登りきると両神神社へ到着。百名山だけあって多くの人が休憩、又、続々と登って来る。そこそこに出発し、つづら折りの山道を登っていると、“ゴロゴロ”と異様な音。“もしや!”と思いい、頭上を振り仰ぐと手の平代ぐらいの岩が、私の1mぐらい先を転がって谷の方へ落ちて行った。“良かった!”と安堵しつつ、「ラクッ」の声もなく、先行く登山者によるものか、自然のせいかわからないまま、より注意しながら登ると、突如狭い頂上へ。記念写真を撮って下山しようと思っていると、鷹を連れた登山者が……。皆も驚愕している。鷹を写真に撮って早々に下山。下山時、立ち寄った白藤の滝は幻であった。

2日目; 起床と同時に三峰登山口Pへ、昨日教えてもらった場所から入る(昨夜に入ると2日分の駐車料金との事)。朝食を食べ出発。朝早いせいか、昨日と違い指先が冷たく痛いぐらいだ。梢越しの山々が朝焼けで朱色に染まり、本当に綺麗だ。今日は長丁場、快調に確実に1h毎のピッチを刻み、頂上を目指す。時間の経過

と共に、寒さが後退し、徐々に暑くなってくる。白岩小屋の前後で、若い登山者数名に追い越される。“若いのはいいな〜”と思いつつ、マイペースを貫いて、5hで頂上へ。(駐車場の人に、「若手でも6hはかかる。あなた方なら日帰りは無理」と言われたが……。) 頂上で30分程、楽しんで、下山。途中、シカの群れに遭遇。面白かった充実した山行が終了。昨日に続き、温泉へ入って、次の登山口を目指した。

〈リーダー所見〉  
三日間とも、天候に恵まれた楽しい山行であった。無理をしないペースを保ち、三つの百名山に登頂できて有意義な日々であった。又、温泉にも恵まれて本当に良かった。今後も、自分たちの力量にあった登山を楽しんでいきたいと思います。



確認  
(リーダー)  
竹  
13/06/22  
内  
作成  
(報告者)  
津  
13/06/15  
田